

9月24日

150名が交通安全を呼びかけ



秋の全国交通安全運動にあわせ、交通安全旗波作戦街頭啓発（上士幌町交通安全協会及び上士幌町防犯協会による主催）が国道241号沿いの工

ネオスタンド前で開催されました。

啓発には町内の関係団体や上士幌高校の生徒など150名が参加し、キャンディーとチラシを配りながら道行くドライバーに安全運転を呼びかけました。

9月25日

上士幌高校の2年生が職場体験実習



9月25日から2日間の日程で、上士幌高校の職場体験実習が町内の各事業所で行われました。

このうち役場企画財政課に配属された同校2年の小糸達也君は広報取材の一環で生きがいセンターを訪れ、町民文化祭に向けて作品製作中の陶芸サークルと手芸サークル取材しました。

実習を終えた小糸君は「自分が知らなかった仕事について触れることができ、今後の針路にも活かせそう

です。」と感想を語ってくれました。

9月29日

思春期における自殺予防講習を開催



9月29日と10月4日に生涯学習センターで「自殺予防ゲートキーパー研修会【思春期編】」が開催され、約90名が参加しました。

第1回目は児童精神科医の田中康雄氏が「思春期の心の病や心の動き」について、第2回目は教育ジャーナリストの品川裕香氏が「思春期の見守り方」について講演しました。

それぞれの講演では、大人が思春期の子どもの特徴を理解し、子ども自身が自分の特徴を理解できるように支援することで、社会のなかで生き抜く力を身につけ、これが自殺予防に繋がることなどを学びました。

10月6日

西原さんと鈴木さんに知事表彰



平成25年度北海道社会貢献賞の伝達式がこのほど行われ、西原竹一さんと鈴木由美子さんに北海道知事表彰が送られました。

西原さんは民生委員・児童委員を15年以上、鈴木さんは社会福祉施設従事者を20年以上務められ、本町の地域福祉の向上に大きな功績を残されました。

第41回町民スポーツ祭ゲートボール大会が9月30日（月）、いきがいセンターコートで開催されました。

大会では計4チームがリーグ戦を繰り広げ、大西フミさん率いる「ひまわりチーム」が優勝の栄冠を勝ち取りました。



9・10月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☞ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

10月14日

第3回ぬかびら源泉郷紅葉まつり



第3回ぬかびら源泉郷紅葉まつりがぬかびら源泉郷中央公園で開催されました。

好天に恵まれた今年 はまつり開始から地元特産品の販売コーナーに長蛇の列ができ、赤く色づいた道路沿いのヤマモミジには「わあ、きれい。」と声が上がっていました。

音更町高齢者学級のバス遠足で会場を訪れた同町の矢島正人さんは「今日は25名でナイトイ高原牧場など各地を巡っており、この後は鹿追町の福原山荘に向かう予定です。何より晴れてくれたのが良かったですね。」と話されました。

10月16日

女性消防団員が保育所で紙芝居を披露

秋の火災予防運動にあわせ、上土幌消防団に所属する女性消防団員5名が、上土幌保育所の年長5才児を対象に火災予防啓発の紙芝居を実施しました。

「くんくんなんのにおい」と題した紙芝居は火事の恐ろしさや、火災時にどんなことが起きるのかを分かりやすく教えるもので、子どもたちは熱心にその内容を聞いていました。



紙芝居に出演した五十嵐加代子さんは「初めてのことなので不安もありましたが、子どもたちの反応もよく思い切っても楽しかったです。」と話されました。

10月20日

第1回ぬかびら源泉郷釣り大会



第1回ぬかびら源泉郷釣り大会が糠平湖畔で開催されました。

ぬかびら源泉郷の若者らで構成する「ぬかびら源泉郷火曜会」が初めて主催したもので、総額10万円分の賞品獲得を目指して、腕に覚えのある釣り人24名が町外より参加しました。朝6時半よりスタートした大会では、参加者が糠平湖畔園地や五の沢など任意のポイントに陣取って釣果を競い合い、五の沢で51・5cmのアメマス釣り上げた帯広市の吉田浩昌さんが見事初代チャンピオンに輝きました。

大会を主催したぬかびら源泉郷火曜会の市田雅志さんは「今回は上級者が中心の大会でしたが、みなさんの意見を聞きながら、次回は初心者にも参加しやすい大会にしたいですね。」と話されていました。

内閣総理大臣より

100歳のお祝い

平成25年度老人の日記念事業として、今年100歳を迎えられた中出きみゑさんと多羽田ユキエさんに内閣総理大臣より祝状と銀杯が贈られ、9月19日(木)に竹中町長より伝達されました。



▲中出きみゑさん（※すずらん荘にて）



▲多羽田ユキエさん（※ご自宅にて）

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: みんな おたがいさま

記:障がい福祉支援員 春口 奈緒



協力隊として1年半が過ぎ、任期も折り返し地点を過ぎました。

私は毎朝、サポートセンター白樺のミーティングに参加させていただいていますが、ここでは「昨日のこと」「秋になったら楽しみにしていること」などのテーマを決め、それに沿って一人ひとりが話をします。

これにはさまざまな目的がありますが、「自分で順序立てて話をする」「自分の言いたい事を言葉で表現すること」の訓練にもなっています。

ある講演会のお話の中で、“できない”事柄の背景にはさまざまなつまづきがあり、その中には「自分の言いたいことの表現の仕方が分からない」という場合もあるとありました。表現することが難しい本人に寄り添い、発している訴えにいかにつづけるか、その気持ちを引き出せるかが大事で、それを整理し他に伝えることが支援の一步になるのだと改めて感じました。

私は、真っ直ぐで一生懸命な利用者みなさんからさまざまなことを気づかせていただいたり、いつも元気をもらっています。この優しい力をもっともっと町みなさんに届けたいと考えています。

今年から「しらかばだより」を年に4回発行していますが、その中で“支援の輪”“見守りの輪”が広がっているように感じています。多くの人に知ってもらうこと、そのプロセスが地域資源になっていくのだと感じます。

“おたがいさま”がある町は優しく強いと感じました。



▲サポートセンター毎月の目標

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



10月9日(水)～11日(金)に苫小牧市で全道高等学校新聞研究大会が行なわれた。参加支部は11支部、参加高は計55校で、384人の生徒が参加した。

初日はこの一年で作成した新聞の展示を行い、記念講演では南極から見た環境問題をテーマに、衛星通信を使い、南

極昭和基地の橋田元隊長と交信した。2日目は九つの分科会に分かれて、高校生新聞について研究した。私が参加した第Ⅲ分科会Bでは、原発問題について、新聞局はどう中立に扱うかを話し合った。他の分科会では、支部活動をどう活発にするか、高校生新聞のあり方などが話し合われた。最終日は前日の分科会で話し合ったことをまとめ、全参加者にむけ発表した。コンクール表彰では、上土幌新聞局が特別賞を受賞した。

全道大会を終え、佐藤局長が引退し、新聞局は生徒7名で活動することになる。来年は優秀賞を取れるよう努力していきたい。

10月9日(水)～11日(金)
上高新聞局、全道大会に参加

文責 岩間 輝

町民文芸

川柳

短歌

あまちゃんが終わって楽しみひとつ減り
木枯らしが秋の街並吹き抜ける
誕生日かぞくいるのがうれしいな
働いた苦勞が戻る賃金日
寄り添って晩酌楽しむ長い夜
過保護かな猫の玩具が溜まってく
猛暑には負けずと食べて太り過ぎ
消費税富裕層には痛みなし
ナス二つ汗の菜園取り収め
邪念捨て孤高の空へ矢を放つ

糧多き三日の旅を終え帰る黄花コスモス庭にゆれ咲く
「還らざるものを霧笛が呼ぶ如し」海辺の歌碑を打つ雨激し
さみし庭今日野の花をいただきて仏に供う心うれしく
耳遠く夫の車を押しながら老いて人中淋しかりけり
礼に礼こたへて未明の対話終ラジオに朝の楽は流れて
今日いちにち何かいいことありますようラジオが告げりあさの目覚めに

白坂	桜	大	小	齊	米	高	米	鈴				
石田		戸	池	藤	森	木	森	木		本	高	石
	い	花	ト	敦	博	誠	真			間	木	川
馨	さ	絵	ク	子	樹	也	弓	豊		栞	慶	裕
	子	ヨ	ヨ	子	子	也	弓	豊		風	子	子

平成25年9月末現在の人口

男 2,451人(先月比-5)
女 2,584人(先月比+2)
計 5,035人(先月比-3)
世帯数 2,354世帯(先月比-1)

寄付

▶上士幌自動車工業株式会社は同社の設立30周年を記念し、9月18日に教育・文化の振興資金として金30万円を寄付されました。

一ふるさと納税一

- ▶各・金1万円…藤谷知伸さん(東京都)、家高哲平さん(香川県)、松村繁男さん(埼玉県)、村松明さん(東京都)、藤木雄三さん(東京都)、寺門美紀さん(茨城県)、舟根晴雄さん(埼玉県)、林田順子さん(福岡県)、水越弘昌さん(北海道)、堀道宏さん(東京都)、門谷久夫さん(大阪府)、鬼窪賢一さん(埼玉県)、上田圭介さん(愛知県)、橋内成泰さん(兵庫県)、小北英夫さん(兵庫県)、安江直人さん(静岡県)
- ▶各・金2万円…子安信寛さん(大阪府)、橋本英明さん(愛知県)、田代敬一郎さん(神奈川県)、笹谷秀彦さん(千葉県)
- ▶各・金3万円…細川雅弘さん(広島県)
- ▶金4万円…山肩正和さん(兵庫県)
- ▶各・金5万円…森谷行治さん(大阪府)、平木嘉幸さん(鹿児島県)、大八木孝昌さん(神奈川県)、椎木リエさん(岐阜県)、周戸美和(岐阜県)、佐々木卓さん(北海道)、森崎博さん(岐阜県)、岩田茂さん(東京都)、星野裕之さん(神奈川県)、岡田修次さん(愛媛県)、中山邦夫さん(京都府)、塚田高樹さん(栃木県)
- ▶金6万円…小川振一郎さん(東京都)
- ▶金10万円…中澤信明さん(奈良県)
- ▶各・金11万円…高宮紘士さん(福岡県)、高宮愛子さん(福岡県)

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人にならしましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



紙10月19日に帯広競馬場で開催された「ばんえい十勝ゆるキャラ選手権」にほろんちゃんが初出場しました。紙管内外の名だたるキャラが参加する中、ほろんちゃんは25mの徒競走を立派に走りきってくれました。(本町からの応援もありがとうございます…Y)

紙芸術の秋ですので、先日、娘と二人でミュージカルを鑑賞してきました。歌、ダンスだけではなく、ライトを使った演出など、親子で魅了されました。子どもたちには、これからも多くの芸術に触れさせたいと思っています。(鑑賞中は、手をつなぎながら…そして…休憩中は、多くのグッズを買わされました。デートだから仕方ない!?…K)

広報 **がみしほろ** 12月号は 11月25日(月)発行予定